

令和7年度（宮城県立支援学校小牛田高等学園）学校の研究概要 ～令和8年1月末現在～

運営委員氏名（ 水 井 奏 ）

研究テーマ	「社会的・職業的に自立する力を育成するための指導の在り方を探る ～ICTを活用した主体的な学びの指導をとおして～」
研究目標	<ul style="list-style-type: none">・生徒が社会人としてよりよく生きるために、課題や困難を改善し、社会参加に関わる資質を養う力を付ける。・人と「かかわる」、より良い生き方を「もとめる」、社会での役割を「はたす」ことができるような力を付ける。
研究内容・方法 研究計画等	社会的動向、本校のICT環境整備状況、教員の学びたいと考えている内容を踏まえ、令和5年度から上記の研究主題とし、3年計画で取り組むこととした。副題だが研究最終年である今年度に向け、令和5年度を「ICTを取り入れた指導をとおして」令和6年度を「ICTを活用した指導をとおして」と、段階的に変化してきた。なお「計画(P) 実行(D) 検討(C) 処理(A)」のそれぞれの段階において、グループごとに意見交換する機会を設ける。また、授業実践においてはグループの教員が互いの授業を見合い、意見交換ができる環境作りを行ったり、事後検討会で話し合いなどの持ち方を工夫し、参加者の多くから意見を吸い上げ、お互いの考えを共有できるようにしたりする。
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	<ul style="list-style-type: none">・本校の校内研修は、「校内研究」と「スキルアップ講座」の二つを柱に据えて展開している。「校内研究」では、これまで2回の情報交換の場(グループワーク)を提供し、ICTを利活用した授業の在り方を考えられるようにした。グループ内では先生方がICTによる授業実践において取り上げたいソフトやアプリを話題に挙げて話し合いを行ったことで、全教員が意欲的に研鑽を深めることができた。また、情報交換で得た新たな知識を加味しながら授業を実践しており、生徒へ効果的に指導を行うための一助となっている。「スキルアップ講座」では、「WISKの値を意識したICT支援活用案」をテーマに講座を行った。これによって、軽度知的障害の生徒の支援となるICTの利活用について深く考えるきっかけとなり、各教科内で支援としてのICTの利用方法などを話し合うようになった。今後も、本校の課題に関する講座や、生徒に身に付けてほしい力、教員の資質向上できるような講座を実施する予定である。・昨年に引き続き、授業力向上研修で様々な先生方が他の授業を参観できるようにし、動画記録を残すことで見逃した授業も後で確認できるようにした。また、参観後に感想や授業改善に関する意見を授業者へ伝えられるカードを渡すことで、授業改善に向けた新たな視点や考え方を取り入れる機会を作ることができた。更に校内研究日の定期的な開催によって、授業に対する意見交換、今後の方向性などを共有できるようにした。以上のことから、情報共有の機会の設定、授業改善を繰り返し、生徒にとって意味のある主体的・対話的で深い学びを実践できるように校内研修を行うことができた。

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。